

- 問1 ブラジルの自然環境や産業、人々の生活に関する説明として、背景や理由を含めて正しく述べたものはどれですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. アマゾン川流域では、高温多雨な気候に適応し、湿気や浸水为了避免のための高床式の住居が見られる。 | 2. 大豆の生産を拡大させるため、ポルトガルからの移民が中心となってアマゾン川の河口付近に大規模な灌漑施設を建設した。 | 3. 内陸部への人口分散を目的として、1960年に首都を沿岸部のリオデジャネイロから内陸のブエノスアイレスに移した。 | 4. 広大なセルバ(熱帯雨林)を保護するため、政府は航空機製造の利益をすべて植林活動に充てている。 |
|--|---|--|---|
- 問2 日本とオーストラリアの貿易関係について述べた次の文のうち、2016年の統計において日本への輸入品目の上位3位までを占める、エネルギー資源および鉱物資源の組み合わせとして正しいものはどれですか。なお、これらの3品目でオーストラリアからの輸入総額の半分以上を占めています。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|-------------|--------------|-----------------|
| 1. 石炭・液化天然ガス・鉄鉱石 | 2. 石炭・原油・小麦 | 3. 原油・鉄鉱石・銅鉱 | 4. 液化天然ガス・羊毛・肉類 |
|------------------|-------------|--------------|-----------------|
- 問3 再生可能エネルギーの一つであり、動植物などの生物資源を原料とするエネルギー源を何といいますか。ブラジルにおいて、サトウキビの絞りかすなどを利用した発電や燃料としての活用が盛んに行われているものを、次のうちから選びなさい。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|---------|----------|
| 1. バイオマス発電 | 2. 風力発電 | 3. 地熱発電 | 4. 太陽光発電 |
|------------|---------|---------|----------|
- 問4 オーストラリアの輸出貿易において、1960年にはイギリスが26%で輸出相手国の1位を占めていましたが、2020年には40%という圧倒的な割合で1位となり、現在のオーストラリアにとって最大の貿易相手となっている国を選びなさい。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|------------|-------|--------|
| 1. 中国 | 2. アメリカ合衆国 | 3. 日本 | 4. ドイツ |
|-------|------------|-------|--------|
- 問5 オセアニアに位置するニュージーランドでは、広大な牧草地を利用して羊や牛を飼育する牧畜が盛んに行われています。この国の輸出統計において、乳製品や肉類などの農業生産品が占める割合について述べたものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2024年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---|---|---|
| 1. 輸出額の50パーセントを超えており、国の主要な産業となっている | 2. 石炭や鉄鉱石などの鉱産資源の輸出額が、農業生産品の額を大きく上回っている | 3. 工業化が進んだ結果、農業生産品の割合は輸出額全体の10パーセント以下となっている | 4. 小麦やとうもろこしなどの穀物生産が中心であり、輸出額の大部分を占めている |
|------------------------------------|---|---|---|
- 問6 1960年当時のオーストラリアは、輸出額の約4分の1をイギリスが占めていましたが、2010年の統計では中国が約25%で首位となり、2位の日本、3位の韓国を合わせるとアジアの3カ国で輸出全体の半分近くを占めるようになっていきます。この変化に関連するオーストラリアの記述として、正しいものを選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 1960年以前から一貫して中国が最大の輸出相手国であり、羊毛や鉄鉱石のほとんどを輸出してきた。 | 2. かつての宗主国であるイギリスとの経済的結びつきが相対的に弱まり、地理的に近いアジア諸国との貿易が拡大した。 | 3. 石炭や鉄鉱石などの鉱産資源が枯渇したため、現在はイギリスなどのヨーロッパ諸国へ工業製品を主に輸出している。 | 4. アジア州からの移民を制限する白豪主義を現在も維持しており、経済面でのみ中国や日本と協力している。 |
|--|--|--|---|
- 問7 ブラジルの首都ブラジリアについて、その建設の背景や特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. アマゾン川の河口付近に位置し、熱帯雨林の保護と観光の拠点として建設された都市である。 | 2. 内陸部の開発を目的として計画的に建設され、近代的な都市景観が世界遺産に登録されている。 | 3. ブラジル最大の人口を抱える経済の中心地であり、多くの日系人が居住している都市である。 | 4. 植民地時代から続く歴史的な港町であり、コーヒーの輸出拠点として発展した旧首都である。 |
|---|--|---|---|
- 問8 南アメリカのアンデス山脈沿いに位置する都市において、月平均気温の推移が「年間を通して10度から15度の間で横ばい」となり、降水量は5月から8月の冬にあたる時期に少なく、夏に多くなるという特徴が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|--------------------------------------|
| 1. 赤道直下の低地であり、強い日射によって一年中気温が高く上昇気流が発達するから。 | 2. 高緯度の寒冷な地域に位置しており、偏西風の影響を強く受けているから。 | 3. 低緯度の赤道付近に位置しながら標高が高いため、涼しい状態が一定して続くから。 | 4. 内陸の盆地に位置しており、夏と冬の気温の差が非常に大きくなるから。 |
|--|---------------------------------------|---|--------------------------------------|
- 問9 南アメリカのアマゾン川流域に広がる地域について、近年、大規模な伐採によって熱帯林が急速に減少しています。伐採された跡地の主な利用目的として、現在最も多く見られるものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. 肉牛を飼育するための牧場や、大豆などを栽培する農地への転用 | 2. 都市化に伴う大規模な住宅団地や先端工業都市の建設 | 3. 伝統的な移動を繰り返す遊牧を行うための草地の確保 | 4. 酸性雨によって枯れた木々を再生させるための計画的な植林 |
|----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
- 問10 世界のとうもろこしの用途別需要の変化をまとめた統計において、1990年代末にはほとんど存在しなかった「特定の用途」への需要が、2010年代半ばには年間1億3000万トンを超える規模まで急増しています。この需要の変化が起きた背景と、その用途の名称の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 化学肥料による土壤汚染を背景に、環境に優しい有機肥料の原料としての利用が増えた。 | 2. 石油資源の枯渇を背景に、石油製品に代わるプラスチック原料としての利用が増えた。 | 3. 地球温暖化対策や石油価格の変動を背景に、自動車の代替燃料であるバイオ燃料としての利用が増えた。 | 4. 発展途上国の人口増加を背景に、家畜の飼料用ではなく直接的な食用としての利用が増えた。 |
|---|--|--|---|
- 問11 南半球に位置するブラジルと南アフリカ共和国の産業的特徴を説明した文として、適切なものを選びなさい。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. ブラジルは日本への鉄鉱石輸出の約6割を占める最大の相手国であり、南アフリカ共和国はとうもろこしの生産において世界一の規模を持つ。 | 2. ブラジルは面積約769万km ² の国土を活かして鉄鉱石を日本へ最も多く輸出し、南アフリカ共和国はとうもろこしの最大の輸入先となっている。 | 3. ブラジルは人口約5,000万人の国として工業製品を主に輸出し、南アフリカ共和国は面積約278万km ² の国土で小麦を生産している。 | 4. ブラジルは人口約2億人を抱える農業大国としてとうもろこしなどを輸出し、南アフリカ共和国は鉄鉱石などの鉱物資源を日本へ輸出している。 |
|---|---|--|--|
- 問12 オーストラリアでは鉄鉱石や石炭などの鉱産資源が豊富に産出されます。これらの資源を採掘する際、地下に深いトンネルを掘り進めるのではなく、地表面から直接渦巻き状に掘り下げていく採掘方法を何といいますか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-------|---------|
| 1. 坑内掘り | 2. 促成栽培 | 3. 輪作 | 4. 露天掘り |
|---------|---------|-------|---------|